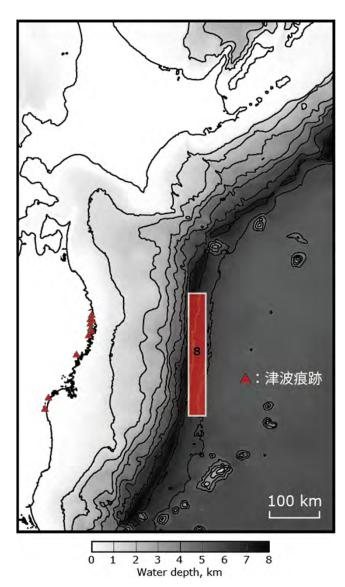
1611年慶長地震津波400周年シンポジウム 2011年12月2日

津波痕跡と史料から再解釈した 1611年慶長地震のモデル

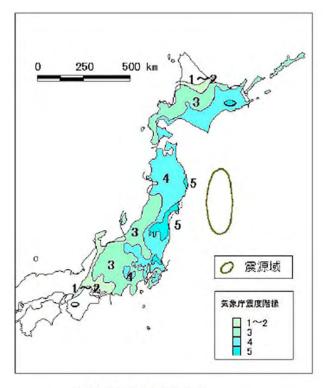
東北大学大学院工学研究科災害制御研究センター 今井健太郎・菅原大助・今村文彦

1611年慶長地震の既往モデル(相田, 1977)



相田(1977)の慶長地震モデル

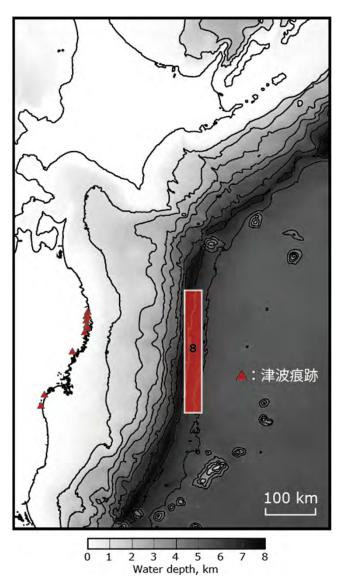
- ・正断層(アウターライズ)地震のみを仮定
- ・三陸沿岸の津波は良く説明できる
- ・江戸で大地震(慶長日件録・他)



三陸地震の震度分布図 [本多・竹花(1933)から作成]

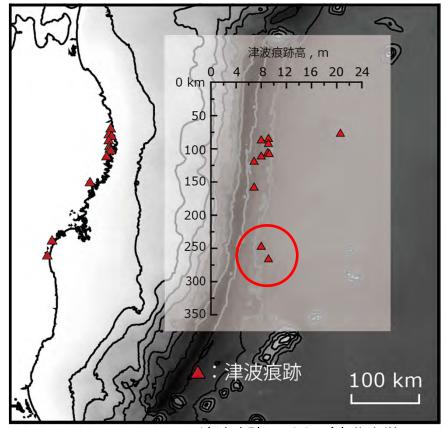
昭和三陸地震と同様の地震メカニズムを仮定した場合,江戸では震度4程度?

1611年慶長地震の既往モデル(相田, 1977)



相田(1977)の慶長地震モデル

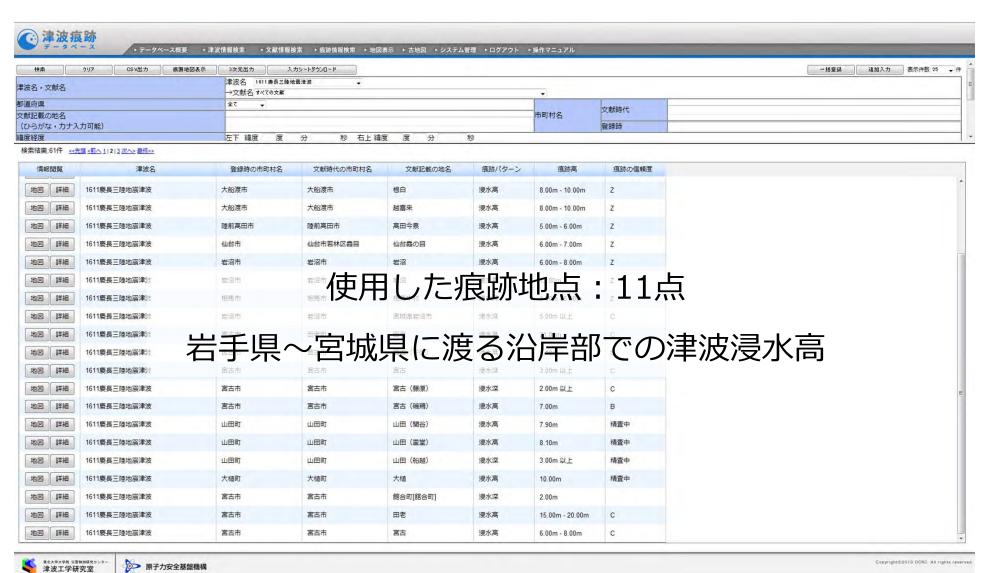
- ・正断層(アウターライズ)地震のみを仮定
- ・三陸沿岸の津波は良く説明できる
- ・仙台湾沿岸の津波を説明できない



津波痕跡DBより(東北大学・JNES)

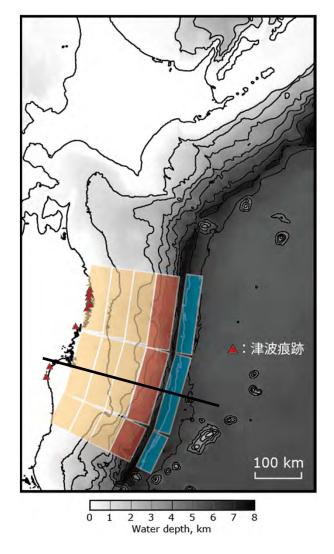
1611年慶長地震の津波痕跡データについて

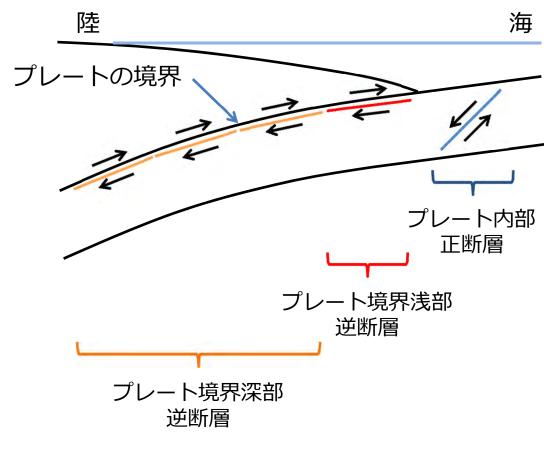
津波痕跡データベース(東北大学・原子力安全基盤機構)の活用 http://tsunami3.civil.tohoku.ac.jp/



津波痕跡高を用いた津波波源の推定方法 仮定した断層面

2011年東北地方太平洋沖地震の震源域(Maeda et al, 2011) + 正断層





仮定した断層面からの津波とその重ね合わせ

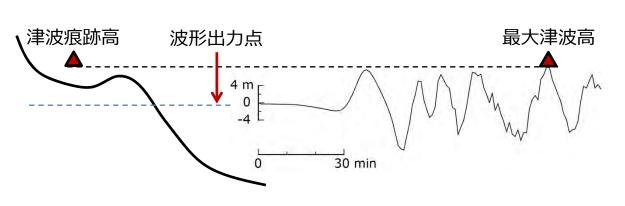
仮定断層1から伝わる津波痕跡点近くでの津波波形

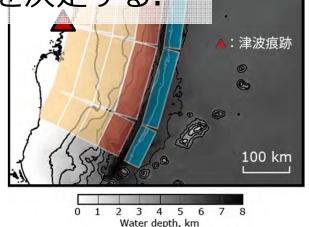


計算津波高と各津波痕跡高の整合性を

- 仮想幾何平均K
- ·幾何標準偏差K
 - ·赤池情報量基準AIC

を用いて評価し、各パラメータが最適値を取るように、仮定した各断層面のすべり量を決定する.

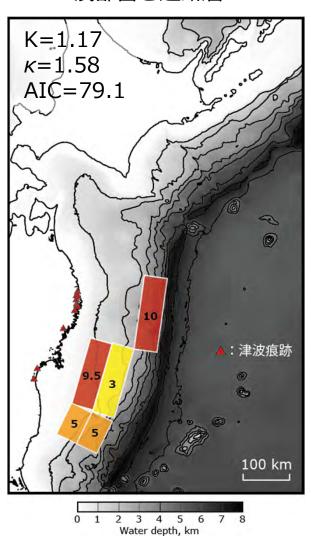




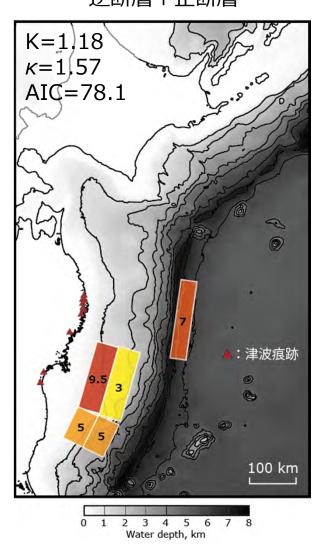
津波痕跡高から解釈された慶長地震像 (暫定)

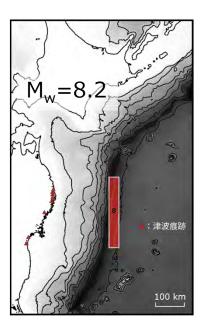
シナリオ1

浅部含む逆断層

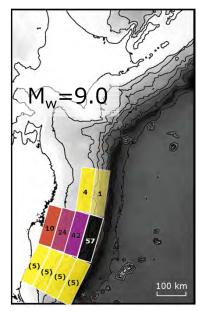


シナリオ2 逆断層+正断層





相田(1977)の慶長地震モデル



2011年東北地方太平洋沖地震 Maeda et al(2011)

史料による地震有感時刻と津波来襲時刻

地震有感時刻

東京都:朝8~10時大地震

仙台市:午前10時大地震津波

K 最大津波来襲時刻

A 仙台市:津波の来襲時刻不明?

M 宮古市:午後2時頃津波

宏観現象

宮古市:津波来襲前に轟音

(1933年昭和三陸地震でも同様の轟音)

・地震有感時刻と津波来襲時刻の乖離

逆断層地震と正断層地震の関係性

1896年明治三陸地震(逆断層)と1933年昭和三陸地震(正断層)

2006年千島列島沖地震(逆断層)と2007年千島列島沖地震(正断層)

(おおよそ2ヶ月の時間差)

2009年サモア地震(逆断層と正断層地震が数分程度の時間差)

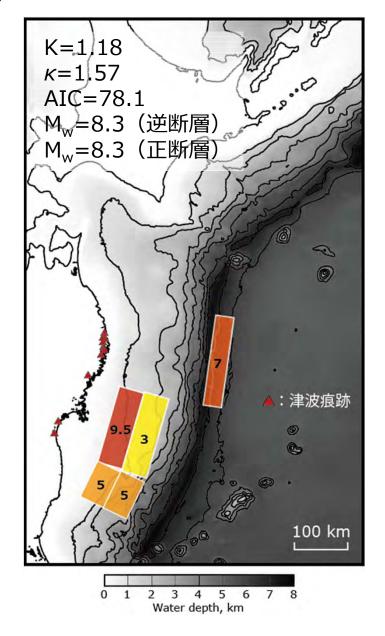
(例えば, 郷右近・他, 2011)

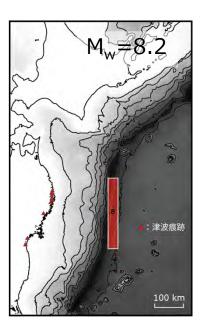
シナリオ2 沖断層+正断層

K = 1 118 $\kappa = 1.57$ AIC = 78.1

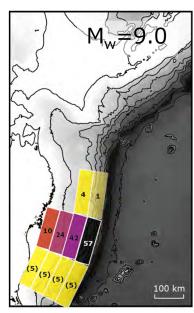
総合的に解釈するならば、シナリオ2の深部逆断層と正断層

総合的に解釈される慶長地震像 (暫定)





相田(1977)の慶長地震モデル



2011年東北地方太平洋沖地震 Maeda et al(2011)

まとめと今後の課題

- ・1611年慶長地震 仙台湾の逆断層地震 + 三陸沖正断層地震の可能性
- ・津波痕跡点数の問題新たな史料発掘,北海道沿岸~千葉県沿岸での地質調査
- ・津波痕跡高の信頼性向上
- ・逆解析手法の高度化
- ・地震学に基づいた検討(正断層地震の再来発生など)